

全国初の取り組み 多区間運賃路線の「WAON」決済サービスを開始 2月4日(月)より順次、くしろバス、阿寒バス、十勝バスでスタート

北海道のイオングループ（イオン北海道㈱・マックスバリュ北海道㈱）は、さらなるお客さまの利便性向上及び地域の一層の活性化を図るため、2月4日(月)より順次、くしろバス、阿寒バス、十勝バスの多区間運賃※1 路線にてWAON決済サービスの実証実験を開始します。なお、交通系ICカード以外の電子マネーによる多区間運賃決済サービスは、全国初の取り組みとなります。

路線バスでのWAON決済サービスは、イオンが進める「地域エコシステム」の一環として、地域の重要な移動手段としてのバス路線の活性化はもちろんのこと、公共交通機関での来店を促進し、さらなる利便性向上と地域の活性化を図る目的で実施しています。

北海道のイオングループでは、2018年5月21日(月)より順次、くしろバス、十勝バスの定額運賃路線にて、モバイルクリエイイト社が提供する電子決済システム※2 を用いた実証実験を実施しました。ご利用の皆さまからは「お買物とバスと両方つかえて便利になった」「利用できる路線を増やしてほしい」などの声をいただいております。この度、多区間運賃決済サービスを開始することとなりました。

イオンの電子マネー「WAON」は2007年4月に誕生以来、“いつでも・どこでも・誰でも”気軽にご利用いただける生活者の電子マネーというコンセプトのもと、利用できる加盟店を増やしてまいりました。北海道の利用可能箇所は約7,000箇所となり、お客さまから高い支持を得ております。

また「WAON」には、日々のお買物でご利用いただくと、ご利用金額の一部をイオンが自治体などに寄付し、地域の発展にお役立ていただける「ご当地WAON」もごございます。北海道では2011年の「ほっかいどう遺産WAON」の発行を皮切りに、現在までに8種類を発行し、これらの「ご当地WAON」による道内での累計寄付金額は約1億1千万円となりました。

北海道のイオングループは、地域の企業と連携し、より住みやすいまちづくりの実現に向け、地域内の交通網の整備や魅力あるサービスの向上に貢献できるよう努めてまいります。

※1 多区間運賃とは、バスの路線を区間ごとに区切って、区間をまたぐごとに運賃が加算されることです。

※2 この電子決済システムは、モバイルクリエイイト株式会社(本社:大分県、代表取締役社長 村井雄司)が、開発した新たなシステムとなります。

【多区間運賃路線のWAON決済サービス導入の概要について】

①くしろバス

導入開始：2月4日(月)

利用可能路線：100系統イオン線

※定額運賃路線の1系統たくぼく循環線は導入済

②阿寒バス

導入開始：2月4日(月)

利用可能路線：21系統鶴野ニュータウン線、39系統高専まりも線の2路線

③十勝バス

導入開始：2月15日(金)

利用可能路線：73系統自衛隊稲田線、79系統畜大線の2路線

※定額運賃路線の西地区コミュニティ路線は導入済

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 総務部広報・IR 佐藤・山崎
マックスバリュ北海道株式会社 経営企画部

電話：011-865-9111
電話：011-631-5192

ご参考

■電子マネー「WAON」の概要について

「WAON」は、あらかじめチャージ（入金）してご利用いただく電子マネーで、お買物ご利用金額200円（税込）につき1WAONポイントが貯まり、貯まったポイントはWAONにチャージしてお買物にご利用いただけます。

また、「WAON」には、ご利用金額の一部をイオンが自治体などに寄付させていただき、地域経済の活性化や環境保全、観光振興などにお役立ていただく「ご当地WAON」があり、北海道では、8種類の「ご当地WAON」を発行しています。

道東地区では、2017年10月13日に、帯広市と包括連携協定を締結し、その一環として「とちかち帯広WAON」を発行、ご利用金額の一部をイオンが帯広市に寄付し、帯広市の子育て支援と、教育環境や動物園の充実にお役立ていただきます。

2018年8月21日には、釧路市と地域連携協定を締結し、その一環として「くしろWAON」を発行、ご利用金額の一部をイオンが釧路市に寄付し、子どもたちのための文化・スポーツの振興と育成、タンチョウや阿寒湖のマリモなどの自然環境保護、釧路市動物園の環境整備にお役立ていただきます。

累計発行枚数：約7,389万枚（2018年11月末時点）

利用可能箇所：道内で約7,000箇所（2018年11月末時点）

全国で約43万2,000箇所（自動販売機・タクシー・ドライバー端末24万6,000箇所含む）

<「ご当地WAON」について>

寄付金額：全国で約12億7,247万円、道内で約1億1,041万円（2018年2月末までの累計）

種類：全国で152種類 ※うち、寄付つき145種類（2018年11月末時点）

【道内で発行している「ご当地WAON」の例】



【ほっかいどう遺産WAON】
北海道遺産の保全活動へ活用



【創造都市さっぽろWAON】
札幌市の文化芸術振興に活用



【SAPPORO※雪ミクWAON】
札幌市の観光振興に活用



【あさひかわWAON】
旭川市の中心市街地の活性化と
旭山動物園の魅力向上に活用



【とまチョップWAON】
苫小牧市の地方創生の
取り組みに活用



【はこだてWAON】
函館市の子育て支援事業に活用



【とちかち帯広WAON】
帯広市の子育て支援と
教育環境や動物園の充実に活用



【くしろWAON】
釧路市の子どもたちのための文化・スポーツの振興と育
成、タンチョウや阿寒湖のマリモなどの自然環境保護、
釧路市動物園の環境整備に活用